

進む！セーフコミュニティプランづくり

京都府のアクションプラン「セーフコミュニティプラン」づくりが急ピッチで進んでいます。8月9日の第3回検討委員会で「高齢者等の事故防止」について、8月18日の第4回検討委員会で「不慮の事故と交通事故の防止」について、そして、8月28日には第5回検討委員会を開催し、「虐待、自殺防止」について、地域で活動されている方々や自治会長さんなど様々な人達と意見交換しました。

自治会独自の「向こう三軒両隣」運動や児童委員さん達のトの地道な活動、地域で活動されているNPOや関係機関の方々の活動などをお聞きし、亀岡市のセーフコミュニティは必ず成功すると確信しました。

また、意見交換の中でほとんどの方が課題として指摘されたのが、地域コミュニティのつながりが弱まってきていること。多くの人が孤立により不安を抱えているのが問題と感じておられるようでした。

意見交換で出された現状と課題をまとめると、概ね次のようになります。これをクリアすることがまさしくセーフコミュニティであり、今、社会で最も必要とされている施策といえるのではないかと強く感じました。



【意見交換結果からみた現状と課題】

1. 不慮の事故や自殺により多くの府民が死亡
2. 子どもや高齢者など社会的弱い立場にある人達が巻き込まれる事案が増加
3. 事故やけがの増加の背景には地域の絆の弱まりがある
4. 各組織の調整や連携が不十分で、効果的、重層的な施策の取組が不十分
5. 「現状把握 目標設定 実施 効果評価 見直し」というPDCAの確立が必要

セーフコミュニティの取組を通じて、地域の絆、人の絆を再生し、そして地域の力により安心・安全なまちづくりを進めるため、今後は、地域の活動を推進するための取組も始めていきます。乞うご期待！

詳しくは、京都府のホームページをご覧ください。<http://www.pref.kyoto.jp/k-san/safecom/index.html>

第3回日本セーフティプロモーション研究会（仮称）設立準備会が開催！

8月26日東京板橋区にある東京都高齢者研究所で第3回の日本セーフティプロモーション研究会(仮称)設立準備会が開催されました。開催の度に、新しい参加者も加わり、ネットワークもどんどん広がってきています。「是非私も！ネットワークに参加したい。」と思われる方、待っています！

さて、準備会は、京都府から亀岡市における取組の紹介に始まり、青森県東地方健康福祉こどもセンターの反町医師から青森県の取組の紹介と香港視察報告、そして㈱マチュールライフ研究所の白石さんからカナダ視察の報告がなされました。

そして議題に入り、組織の名称、規約、設立総会の時期、場所について意見交換がなされました。組織の名称は「日本セーフティプロモーション学会～日本セーフコミュニティネットワーク～」が候補としてあげられました。その後、「組織化・規約作成」「広報・国際対応」「設立総会」の3つのワーキンググループを設置し、設立総会に向け準備を進めていくことになりました。設立総会開催場所については現在京都府などが候補に上がっており、今後開催時期等も含めて検討がなされることになっています。